

主催 神奈川県弁護士会

映画「イマジナリーライン」

上映会&トークイベント

入場無料

定員90名（先着順・事前申込不要）

2024. 11. 30 (Sat.)

13:00 開場

13:30 第1部 映画上映会

15:00 第2部 パネルディスカッション

場所：東京芸術大学横浜キャンパス（馬車道校舎）

3階大視聴覚室

第1部 イマジナリーライン上映会

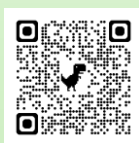
【スタッフ】 監督：坂本憲翔
脚本：坂本憲翔、峰岸由依、横尾千智
プロデューサー：小池悠補

【キャスト】 中島侑香、LEIYA、丹野武蔵、早織、
松山テサ、鈴木晋介、生津徹、ほか

【作品あらすじ】

母親の遺灰を納骨できないまま日々を過ごしていた山本文子。ある日、文子は友人であるモハメド夢の提案をきっかけに、遺灰を海に散骨しようと決意する。そうして母親の故郷、鎌倉へと出向いた2人だったが、その夜突如夢が警察に捕えられ、そのまま入管へと収容されることに……。

予告編はこちらから→



第2部 パネルディスカッション

日本では近年、外国人労働者の受け入れが急増し、2023年12月末時点の在留外国人数は341万人を超えて過去最高を記録しました。一方、これまで多くの移民や難民を受け入れてきた欧米各国では、移民排斥を掲げる右派政党が台頭し、大きな社会問題となっています。日本の社会が外国ルーツの市民と共生していくために何が必要なのか。当事者は日本の社会に何を求めているのか。映画監督、NPO職員、弁護士、それぞれの立場で活躍する若い世代と共に考えます。

モデレーター 小ヶ谷千穂さん

フェリス女学院大学文学部コミュニケーション学科教授。専攻は国際社会学、国際移動論、国際移動とジェンダー論。著書に「移動を生きる - フィリピン移住女性と複数モビリティ」（有信堂高文社2016）。

パネリスト 坂本憲翔さん

東京藝術大学大学院 映像研究科映画専攻監督領域卒業。短編映画『窓辺のふたり』が東京国際映画祭「Amazon Prime Video テイクワン賞」にノミネート。

パネリスト 王遠偉さん

NPO法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾事務局次長 中国福建省生まれ。2008年来日。大学院卒業後、会社員を経て、2024年1月から信愛塾スタッフと外国籍の子どもたちを支える活動に従事している。

パネリスト 河西拓哉さん

2022年12月より神奈川県弁護士会にて弁護士登録。同時期にウイシュマさん名古屋入管死亡事件国賠訴訟弁護団に加入。外国人技能実習生問題弁護士連絡会等に所属。

共催 フェリス女学院大学
NPO法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾

アクセス 〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町4-44
東京芸術大学横浜キャンパス 馬車道校舎
みなとみらい線 馬車道駅下車5・7出口よりすぐ

問い合わせ先 神奈川県弁護士会 業務課
電話 045-211-7705（平日9:00～17:00）

